

経営比較分析表（令和5年度決算）

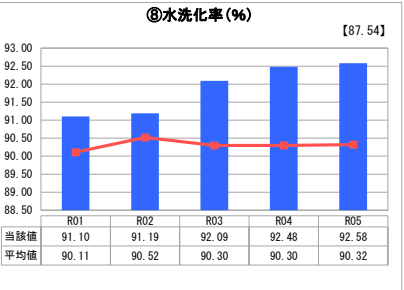
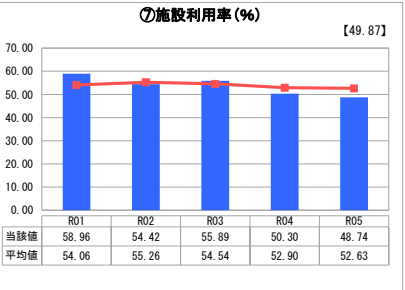
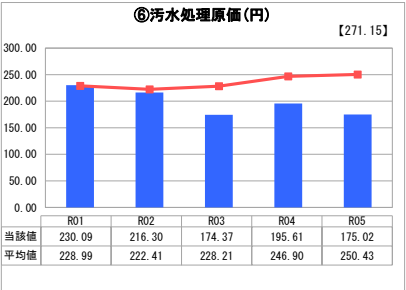
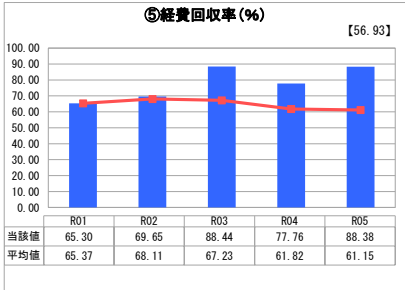
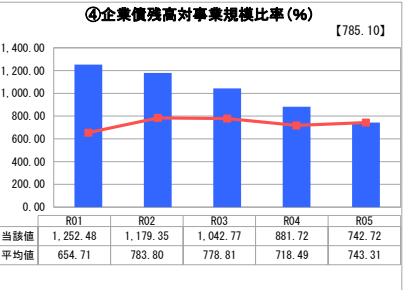
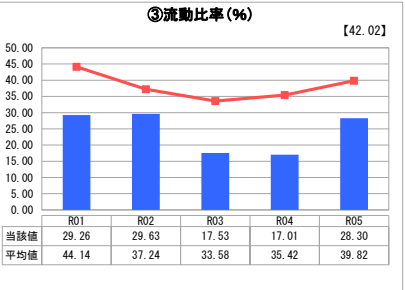
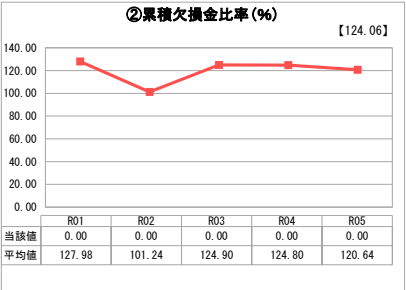
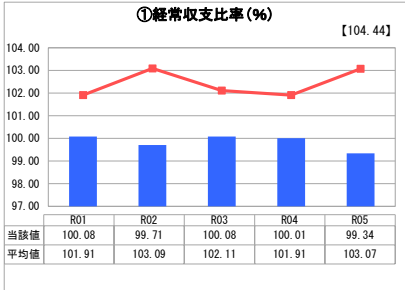
宮城県 延岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	76.80	2.97	100.00	2,619

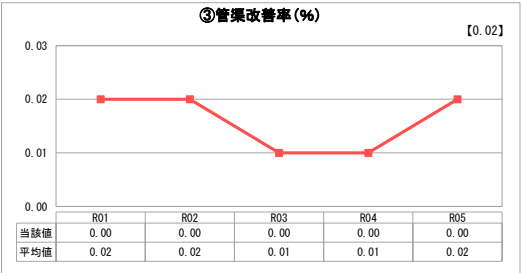
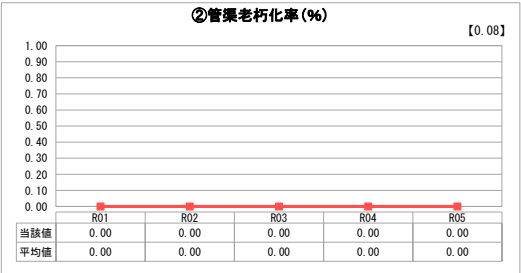
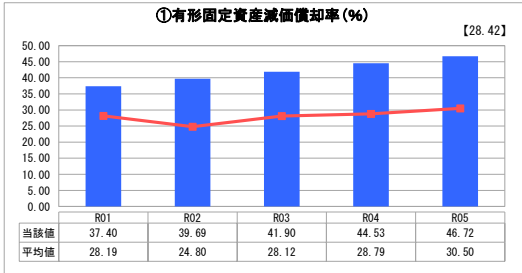
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,847	868.02	133.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,408	3.05	1,117.38

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率はわずかに100%を下回っています。が、累積欠損金は発生しておらず、比較的経営の健全性は保たれています。今後も健全経営を持続していく必要があります。

・経費回収率は100%を下回っています。このことは、現行の使用料収入では全ての汚水処理経費を賄えていないことを示していますので、将来を見据え、維持管理費用に対する使用料水準について再検討していく必要があります。また、維持管理費の削減や不透明（特に雨天時に汚水量が増加する現象）対策に取り組み、有収水量の確保に努めます。

・流動比率は100%を下回っています。このことは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えていないことを示していますが、負債の多くは建設改良費等の財源に充ててのための企業債が占めており、これについては使用料等を原資として償還を予定しています。このことを踏まえた上で、支払能力を高めるためにも引き続き経営改善が必要となります。

・水洗化率は平均値よりも優位な数値で推移していますが、施設利用率は平均値を下回っています。これは、令和4年度に農業集落排水処理区域であった行徳地区を効率的な汚水処理を目的に特定環境保全公共下水道に接続したため、水洗化率は上昇し、施設利用率は一時的に減少したと考えられます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることを示しています。

老朽化について、法定耐用年数を超えた管渠はないことから、現在必要な更新事業はない状況です。今後の老朽化を見据えて、将来の更新費用の財源確保と投資計画の見直し等を行う必要があります。

全体総括

今後、処理施設の老朽化に伴う費用の増加に対応するため、更新費用の財源となる使用料の見直しや処理場の統廃合も含めた効率的な改革が必要となっています。

また、本地域内においては、不透明増加が大きな問題となっています。その影響による維持管理経費の増加も顕著に表れているため、早急な原因の究明と整備を行う必要があります。なお、経営戦略については平成28年度に策定し、令和2年度に事業費の見直しに伴い改定を行いました。さらに、令和6年度中に近年の物価高騰等の影響を事業費に反映し、改定する予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。